

## 2年目の取り組み

スーパーサイエンスハイスクールの指定を受けて2年目をむかえた本校は、初年度の実績を踏まえて、特に生徒たちが、科学技術分野での女子の活躍に対する関心を深め、理数系科目へ前向きに取り組む姿勢をつくるよう支援することを柱とした計画を進めてまいりました。

岡山大学、鳥取大学、福山大学との連携に加え、「女子中高生理系進路選択支援事業」という2006年度文部科学省が創設した新事業に採択された岡山理科大学との連携にも恵まれました。身近に女性科学者や、大学院生ら「ロールモデル」と触れ合い、学習指導・研究に加えて、親しく話す機会を持つことができ、生徒たちの取り組みにも刺激を与えました。

課題研究を継続し完成させようと、始業前の観察、休憩時間の利用など、自主的に行動し、積極的に取り組んでいる姿勢に生徒たちの成長を見ることができました。また、サバ大学（マレーシア）での英語による発表、広島大学で行われた中学生・高校生バイオ研究発表（日本生物工学会）、鳥取大学でのポスター発表（生物系三学会中国四国支部大会）など、校外での発表の機会に積極的に参加して、視野を広げ、学ぶ姿勢を身につけたことを喜んでいきます。

SSH事業に対し、ご支援をいただいている文部科学省、政府諸機関、岡山大学、鳥取大学、福山大学、岡山理科大学や、ご指導・ご協力いただいた先生方に厚くお礼申し上げます。

今後とも、ご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2008年3月31日

学校法人ノートルダム清心学園  
清心女子高等学校  
校長 小谷 恭子